

## 第4回世界自然遺産5地域会議 議事録

### ■開催概要

日 時：令和7年4月14日（月）10:00～12:00

場 所：オンライン会議

（発信元）

（一財）地球産業文化研究所会議室

出席者：＜5地域会議構成員＞

世界自然遺産5地域会議（以下「5地域会議」という）会員24名（15市町村長，1公益財団法人理事長，代理8名）[欠席は1名]

＜関係行政機関・支援機関＞

中村利雄イベント学会会長，蔵元進地球産業文化研究所専務理事，

山本純子東京都産業労働局観光部企画課連携事業担当（課長代理）

※その他随行者，事務局等を含め，合計73名が参加。

別紙「出席者一覧」参照

### ■議事内容

#### 1 開会・あいさつ

蒲地事務局長（屋久島環境文化財団）：ただいまより，第4回世界自然遺産5地域会議を開催する。

本日はオンライン形式ではあるが，全国の世界自然遺産5つの地域から関係市町村・団体の皆様にお集まりいただいている。私はこの4月より屋久島環境文化財団の事務局長を務めている。

これからの会議の司会進行はメッツ研究所清家氏にお願いする。

清家（メッツ研究所；以下司会）：ここで，開会にあたってのご挨拶をいただく。当5地域会議代表の小野寺浩屋久島環境文化財団理事長だが，実は体調不良のため本日欠席している。「世界自然遺産5地域会議」規約によると，第8条に「本会の会議は，代表がその議長となる」，第5条第4項に「副代表は，代表を補佐し，代表に事故あるときは，その職務を代行する」とある。開会の挨拶と本日の会議運営について，副代表の荒木屋久島町長にお願いする。

有馬観光まちづくり課長（屋久島町）：本来であれば本会副代表の荒木がご指名を受けており，ご挨拶すべきところだが，本日公務出張のため，私屋久島町観光まちづくり課長の有馬が代読する。

第4回世界自然遺産5地域会議の開会にあたり，ご挨拶申し上げます。大阪・関西万博は，ちょうど昨日4月13日開幕し，10月12日までの半年間，大阪夢洲の会場で様々な催しが繰り広げられることになった。私ども5地域会議では，5月6日（火），6月5日（木）に参加することが決まり，これまで各メンバーが力を合わせ，参加方法・内容等について検討を進めてきたところだ。

本日は事業の内容を催事基本計画として確定し，具体的な準備に入るために開催するものだ。併せてできるだけ多くの人たちに会場に足を運んでもらい，5地域の魅力や活動内容を知っていただくための広報や集客の取組についても，検討したいと考えている。最後まで十分にご協議をいただき，実りある成果を得たいと思う。

本来ならこの挨拶は小野寺代表が行うべきところであるが，体調回復が十分ではないということで，前回に引き続き欠席となった。議事進行役も前回と同様，万博の運営について誰より

も詳しく、当5地域会議でも1回目から説明や助言、支援をいただいていた、イベント学会会長、屋久島環境文化財団特別顧問でもある、中村利雄氏にお任せしたいと思う。どうぞよろしく願います。会員の皆様にもご承諾をお願いする。

中村会長（イベント学会会長；以下議長）：小野寺氏、荒木氏に代わって、前回同様進行役を務める。どうぞよろしく願います。実は私は12日の開会式と、昨日まで、開幕日、大阪・関西万博を見てまいった。今回予定している大催事場でのイベント、これは開会式を行ったところである。開会式の設えとはまた違った形になると思うが、1,700人ぐらいの方が開会式にはご出席になった。1,700人入ると、アリーナ席の一部も使って、かなりびっしりという感じではある。ある意味、非常にアットホームな雰囲気、密な関係ができるということで、いろいろな方々が乗ってくるには、非常に適した場所ではないかと思った。音響関係は非常に素晴らしいと思った。映像も、真ん中の映像は極めて鮮明だった。初日から14万人と大勢の方が来ておられて、さすが70年万博の思い出があるのか、大阪ではもう大変乗りに乗って盛り上がっている雰囲気だった。その意味で、非常に格好の場であると思っている。ぜひこの機会に、世界自然遺産5地域の魅力と、皆様方の取組と、そこで育まれた文化を、会場の内外でご披露していただけたら、素晴らしい発信になるのではないかと期待をしている。それでは会議を始めるので、ご協力をお願い申し上げます。

（司会により、出席者紹介、資料確認）

## 2 議事

### （1）大阪・関西万博参加事業の基本計画について

#### 1）万博会場と大型自然映像

◆資料 1-1-1：大阪・関西万博会場図（一部動画入り）

◆資料 1-1-2：大型自然映像について

－事務局（メッツ研究所 枝松）より説明。

－6月5日プログラムの一つの目玉として制作中の、5地域の自然を紹介する大型映像（試作版）を約5分間、上映－

#### 2）万博参加事業催事基本計画案（説明）

◆資料 1-2：大阪・関西万博参加事業催事基本計画（案）

事務局（資料 1-2 説明）：「1. 計画の基本事項」は、昨年11/19の第3回5地域会議での議論とそれ以降のコアメンバー会議、幹事会での協議事項を整理し、まとめたもの。まず実施内容全体概要と主催、共催を示している。事業の中身としては、大きく3区分。

事業予算は表のとおりで、収入は会員からの負担、共催に入っている支援機関からの助成等で賄うことになる。地域負担金は各会員がこの事業に参加するに当たっての基本料金に当たるもので、共通経費の一部に充てる。支出は、制作推進に必要な準備段階の経費、当日の会場の運営・管理にかかる経費から構成。事務局・支援機関と会員市町村の役割分担は大きくいうとこの表のとおりであり、役割分担・費用負担については了承いただきたい。

テーマウィーク催事は3団体共同で行う。5地域会議の持ち分は2時間程度。「観光管理」と

「多様な主体の参加促進」を入り口に、いろいろな地域、立場の主体が議論する。モデレータの田中先生の進行により、取組事例等の発表後、地域課題について各地域の活動団体、事業者、行政、企業、有識者でディスカッションすることを予定。

一般参加催事=EXPO ホール催事は盛りだくさんの内容だが、それぞれ準備が進み、登壇者や演目もほぼ決まっている。総合司会は有働由美子さん、ステージは11時から18時30分まで。大きく4つのプログラムから構成。①子供作文の発表、②地域紹介の映像、トーク、芸能パフォーマンス、③国際シンポジウムと続き、山極壽一さんや仲間由紀恵さんなどが登壇する。④展示は、ホール内にある多目的室を使用し、各地域から映像ソフトも含む展示物を持ち寄って、地域の自然、文化を紹介。壁面は写真やイラストで構成する。⑤クロージングは、関係者が勢ぞろいしてまとめを行う。主催の5地域会議からは首長全員に登壇いただき、各地域1名がコメント。5/6の議論も承ける形で行きたい。最後のメッセージは資料1-3に文案を用意した。

### 3) 5地域メッセージ(仮称)案(説明)

#### ◆資料1-3: 5地域会議メッセージ(仮)文案

事務局(資料1-3説明):過去の30年を振り返り、これからの30年を見据え、自然との共生や環境文化の重要性を国の内外へ向けて、世界自然遺産5地域会議から訴えかける形をとっており、有働由美子さんに読み上げていただく予定。いろいろな方の意見を聞いてきたが、これをたたき台に5地域会議総会でも意見を出し合い、5地域会議の総意として発信したい。

議長:昨日開幕したので数件しか見てないが、「いのち輝く未来社会のデザイン」という意味は何かと思っていたら、私が見た範囲のところは、たまたまだったかもしれないが、この宣言文にあるような長い人類と自然との循環の中ですべての命は流れているということをしごく謳っている。命が輝くためにはそういう好循環というか、結局自然のことを、テーマの解釈として、循環を謳うものが非常に多かった印象だ。もちろんiPS細胞の心臓等もあるが、そういう中で多くの生き物が生きて、それが循環していく中で育まれてきたということをし、深い森を通して表現するなどが非常に多い。私達がやろうとしていることも、大阪・関西万博の1つの解釈として非常に成立していると思った。

#### <質疑応答>

佐々木町長(藤里町):5月6日は3団体の共催の形だが、6月5日に関しては、11時から6時半までという中で、お昼休みが15分ぐらいしかない。そうした時に、この会場の中は、飲食ができるのかどうなのか。あるいは演舞の団体の人たちの準備のための控え室はあるのか。そこでお昼ご飯を食べられるのか。これを見た限りは読めなかったので、教えていただきたい。

事務局:このホールはバックヤード、楽屋がしっかりしている、その中で食事することは可能のはずだ。見る方がどういうふうに食事をとれるのかはまだ確認していないが、おそらく入れ替わりをしながらとっていただくことになるかと思う。協会の方でもはっきり利用のことが決まっていない部分があるので、できるだけ早く把握して皆さんにお伝えしたい。

議長:私が質問するのもおかしいが、お客さんの方は予約という制度があり、パート1、パート2、パート3という予約になっていれば、当然それが終われば食事に行くとかになるのでは。

事務局：この EXPO ホール，我々の 6 月 5 日については，予約はない。出入り自由になっている。

議長：食事に行きたくなったら，途中で行く。出入りがかなりあるという前提でいなければいけないということか。

事務局：そうだ。まだはっきりしてないが，500 人なり 600 人の，5 地域の関係者の席は確保しておく。それ以外は出入りがある。もちろんその 500 人も外に出ることは可能である。客席の確保や運営管理はしていきたいと考えている。

議長：パッと抜けてしまうとまずいので，できたら 200 人くらいずつ交代で昼は食事していただく等の誘導はしないとイケない。

佐々木町長（藤里町）：それこそ昨日のオープニングの様子を見てみると，食事の時間や，あるいは非常に遠かったり，時間がかかったりする。例えば自分たちの方から行く人に関しては，自分たちの方であらかじめお弁当を用意するのは可能か。その辺，再度お知らせいただきたい。

議長：昨日私も見たが，弁当は持ち込み可であり，中でも売っているように思った。大屋根リングの下で，ベンチで食べている方もいた。この大催事場は日本館のすぐ隣で，リングにも非常に近いので，弁当を用意すると安全だとは思う。どこか食べに行っていると，時間がかかりすぎる。くら寿司が 8 時間待ちだとか。そうなると昼夜兼用になってしまうので。

事務局：中では食べるなど言われていた。外に出てお弁当を食べる分には問題ない。

安田市長（奄美市）：（資料 1-2，15 ページ）奄美・沖縄の芸能では，島唄や島の伝統的な踊りを披露するが，関西に在住している関西奄美会の方を中心に踊りをさせていただこうと，盛大にやっていたと思う。人数が 30 名と書いてあるが，前回の会議で 50 名くらいは参加させていただきたいとお伝えした。そこは 50 名でも大丈夫か。

事務局：それは全然問題ない。ぜひ大勢来ていただければありがたい。

安田市長（奄美市）：すでに 50 名で関西奄美会には調整をお願いしている。この 50 名に入りきらない方も観客として来ていただく予定である。問題ないか。

議長：50 名の方の分は AD 証入場という別途の手続きを今しているのです，その説明も含めて，事務局から当日の運営というところでご説明する。

## （2）集客及び当日運営について

### 1）広報・集客計画案

#### ◆資料 2-1-1：広報・集客計画案

#### ◆資料 2-1-2・3：催事告知チラシ案

事務局（資料 2-1-1，2-1-2・3 説明）：広報・集客方針案について，万博自体が 5 地域会議の広報手段であるし，客席を埋めないと出演者も力が入らないということもあるので広報・集客が事業として重要と考えている。資料にあるような告知用のチラシを準備しつつある。これらを使った広報・集客の方針を挙げた。各市町村でも広報誌などを使った PR をお願いしたい。

また集客目標も設定したい。まずは 5 地域会議関係者がどのくらい集まれるかを出し合ってみるとよいのではないかと。そのために各団体が固めの数字と目標値を出してみるのはいかがでしょうか，下のような表を作ってみた。また運営協力可能な人員の確保が必要であり，これも併せて人数の把握ができるようお願いする。表に記載して事務局に提出していただき，それを集約して目標を話し合うための材料としたい。

## 2) 当日の入場方法、運営体制等

### ◆資料 2-2-1：万博会場入場登録手続きについて

事務局（資料 2-2-1 説明）：博覧会協会から求められている入場手続きについて、ご理解いただきたい。スタジオと、このホールへの入場方法が大きく3つに分かれている。「AD証入場」は、万博の入場チケットが不要。次に5地域の関係者として入る「関係者入場」は、先ほど言った、500人なり600人なりを登録しておいて、席を確保しておく。ただ、これは入場チケットが必要。「一般入場」は、AD証の発行や事前登録はなく、予約もないので、他のパビリオンを見てここへ立ち寄ったとか、そういう一般の方が出入りするという感じで考えている。

AD証は、登壇者と当日実際に働くスタッフが対象になる。事前の登録が必要で、個人情報の登録等があり、協会と直接やりとりをしていただかないといけない。一旦私どもの方で集めて、協会に申し出て、協会からまた個々の方に連絡いただく形で、やっとAD証が発行される。急いでこの手続きを進めたい。今月中に事務局がまとめて申請をする。お名前や連絡先を教えてくださいいただかないといけないので、よろしく願います。

あと、事務局の手配が遅れているが、万博の入場チケットをまとめて買うと安く手に入るという話を聞いて、問い合わせをしているが、まだお答えをいただけていない。一般の団体入場券より安く手に入る、100枚単位で購入する仕組みがあるらしい。まだはっきりしてないので、それが入手できれば、皆さんの代わりに買っておいてお分けすることも考えたい。あるいは招待状も、一部には考えたい。

### ◆資料 2-2-2：催事当日の運營業務分担について（案）

事務局（資料 2-2-2 説明）：催事当日の施設運營業務分担に関して、博覧会協会ですることと私ども5地域ですらなければいけないことが分けられており、その中で事務局なり委託するイベント会社なりと、それから各会員の皆さんにスタッフとして手伝っていただくことも考えていきたい。会員団体ごとに数名のご協力者を出していただけて、整理や案内を分担できればと考えている。まだ細かく決めなくてはいけないことがいくつかあるが、決めながらお伝えしていきたい。

それから、催事のプログラムに関連して、5月6日にはせっかくいろいろな方が集まり、6月5日にはまた大勢の方が集まる。イベントの終了後に、これまでと同様、会費制ではあるが、懇親会を開催したいと考えている。それもご協力をお願いしたい。

以上、非常に駆け足で説明したが、皆様のご協力で成り立つ計画になっているので、今日ご審議いただいて、実施のための計画として決定したい。よろしく願います。

議長：AD証で入る人は、チケットがいない代わりに、他のパビリオンには入れない。あくまでも無料で入ることなので、このために入る。チケットを持っている方は、別のところに行ってみようとすることはできる。そういう違いがある。それは、5月6日も同じ状況だが5月6日は一部予約が入る。関係者の席は用意しているが、午前中が世界自然遺産、午後は「関西・歴史文化首都フォーラム」と「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話プロジェクト」で

ある。それぞれの関係者がそれぞれのセッションの時には中心になる。最後の総括セッションは、それぞれのプログラムの代表にご参加をいただく。こういう仕分けになっているので、6月5日と5月6日では進め方が異なる。

### (3) 意見交換・議決

議長：今日は大勢の首長にご出席をいただいているので、ご意見・ご質問をお願いしたい。現在17名の首長がご出席されているので、発言は2分程度でお願いします。ご発言の際はお顔が映るよう「ビデオ・オン」でお願いします。

#### ○知床

山内町長（斜里町）：(退出済み)

湊屋町長（羅臼町）：全体として、羅臼町としても、しっかり今説明のあった形の中で準備をして進めていきたいと考えているので、よろしくお願いします。

村田理事長（知床財団）：知床は、斜里町、羅臼町の両町と一緒にコーディネートさせていただきながら、今回良い機会だと思って知床のアピールをしたい。よろしくお願いします。

#### ○白神山地

平田町長（鱒ヶ沢町）：(公務で退出)

桑田村長（西目屋村）：皆さん大変ご苦勞様である。世界自然遺産5地域会議ということで、参加させていただいている。この世界自然遺産の価値を多くの方々に知っていただきたいと思っている。精一杯頑張っていて活動していきたいので、これからもよろしくお願いします。

佐々木町長（藤里町）：先ほど質問させていただいた。全体的な流れはわかったが、当日スムーズに行くように、よろしくお願いします。

細田商工観光課主事（八峰町）：堀内町長は公務のため欠席させていただいている。今回5地域会議という形で皆さんが揃って万博に向かうような機会はなかなかないと思うので、これを機に白神の価値や魅力というところを発信していければよいと思う。よろしくお願いします。

#### ○小笠原諸島

渋谷村長（小笠原村）：1回目からいろいろな意見を申し上げさせていただいていたが、ようやくというか、本当によくまとまったなというのと、今日の事業予算を見て、地域の負担金以上に、いろいろな助成や自己調達がこれだけかかるのだと思って、逆に頑張らなきゃなと思っている。

今回の東京都産業労働局作成の資料が入っている。前日6月4日に、世界自然遺産を活用した観光振興の催事があるが、ざっくり今決まっていることがわかれば聞きたい。私は言い出しっぺ的なところがあって、ぜひ前日4日の日も参加したいと思っているが、東京都にコメントをいただけるか。

事務局：後ほど、議事4「その他」で東京都にご説明をいただく。

#### ○奄美大島，徳之島，沖縄島北部及び西表島

安田市長（奄美市）：非常に楽しみと期待でワクワクしているところである。私の方から、3つほ

ど申し上げる。まず1つは、この最終メッセージにも関わる場所だ。来ていただいた方々にいろいろお伝えし、ぜひ考えてほしいというのは、たくさんあると思うが、その中で世界自然産の5地域の話聞いてよかったと思って帰るだけでは、なんかもったいないという気がする。都会に住む方も地方に住む方も、それぞれにできることがあるのではないかとこのころで、SDGsの取組や生物多様性であったり、気候変動のことであったり、もう少し具体的なことも盛り込んでよいのではないかと思った。それは事務局で練りに練っているところだと思うが、そういったものもどこかそれぞれの地域の発表の中でも、盛り込めたらと思う。世界自然遺産は、国内5地域だが、国立公園は30いくつある。来た方々に、自然を守ることの大事さ、自然と親しむことの大事さをしっかり訴えていきたい。

2つ目、集客の面で気になっている。世界自然遺産の5地域関係者や、元々自然環境等に関心の高い方ばかりが来ても、ちょっともったいない。むしろあまりそういうものに興味・関心が低い方にこそ来てもらって、少しでも触れてもらって、考えたり感じたりしてもらいたい。そういう意味で、言い方がストレートで恐縮だが、しっかり、万博に来た方に、シャインハットに寄っていただく。そのために有働由美子さんや仲間由紀恵さんが出ていることを、しっかりアピールしてほしい。もちろんそれだけではないが、なんとか普段あまり関心のない方にも、アンテナに引っかかるような宣伝・周知を事務局にはとっていただきたい。

3点目、芸能パフォーマンスでは、最後に我々奄美・沖縄でさせていただく。総勢50名ぐらいで、舞台の上で八月踊り、六調という島の文化を披露する。奄美・徳之島のそういった芸能は基本全員参加型で、舞台上上がっている人だけがやればよいというのではなく、舞台の下でも、奄美・徳之島関係者、関西奄美会の方々が来て、踊り出すと思う。また客席で座っている方も、せめて手だけでも参加してほしいなと思っているが、そういった演出で大丈夫か。舞台の下の方に、バーっと立ち上がって、踊りたい人みんなで踊ることをイメージしている。奄美・徳之島の踊りは、だいたいいつもそうなるので、そうしたいと思っている。それでよろしいか。

事務局：集客に関しては、有働さんも意識されていて、私や仲間さんの名前がちゃんと出るように前からやっていきましょうということも言っていたので、活用させていただいて、市長がおっしゃるような形で呼びかけていきたい。

八月踊りや六調については、舞台の上には上がりきらないと思うが、前の方のスペースがあるので、そこに皆さん出てきて踊っていただくことについては、イベント会社にも伝えており、やれると思うので、ぜひ盛り上げていただきたい。

議長：昨日プレスセンターを覗いたが、今1,000人ぐらい各地域のテレビや新聞が登録されているようだ。今日ご出席の各地元のマスコミの方にも連絡をいただくということと、そのプレスセンターで、有働さんや仲間さんの出演や、山極先生のもとで立派な国際会議もある等、内容を早めにプレスに配りたい。協会と相談をする。

伊集院村長（大和村）：（退出済み）

元山村長（宇検村）：事務局の方々には、ここまで詰めていただき、本当に感謝申し上げます。私も先ほどの安田市長が言った八月踊り、六調の皆さんが不完全燃焼で帰らないように踊れるのが一番気になっている。そこは大丈夫だということを伺い、ますます楽しみになってきたところである。また今後とも連携して取り組んで、まだまだ我々の世界自然遺産を発信していきたいので、よろしく願います。

鎌田町長（瀬戸内町）：これまでの準備ご苦労様だった。広報・集客の件だが、5地域の出身者や関係者だけが我々のこの取組を見るのではなく、どれだけ多くの世界各地、日本各地の方々に見てもらおうかということに関しては、広報が大事だと思う。このチラシと全体プログラムをそれぞれの自治体のSNS等で配信できるように、できるだけ早く準備していただくことが集客につながると思うので、よろしく願います。

竹田町長（龍郷町）：（音声の不具合。後ほどご発言いただく）

高岡町長（徳之島町）：（退出済み）

森田町長（天城町）：皆様方に、久しぶりにこうして、ウェブではあるが、お会いできて大変嬉しく思う。また、このようにしっかりとまとめていただいたこと、そして内容も十分把握できたので、当日に向けて頑張っていきたい。安田市長、鎌田町長からのお話があったように、これから世界自然遺産のこのイベントをどのようにして発信していくかということが大切と感じている。私たち天城町も、地元出身者だけではなく、HPまたSNSを活用して広報をしていきたい。一緒になって成功に導くことができれば大変嬉しく思う。よろしく願います。

大久保町長（伊仙町）：安田市長が話したように、ワイド節や島の踊りは、非常に多くの方々が集まるので、関西の伊仙町出身者の方々は大挙して出てみたいという話もある。ステージと最終的には一体となる可能性もあるので、その辺のことを先ほど大丈夫だろうという話であった。

それから小野寺先生がこの奄美・琉球を自然遺産にするとときに最も重要な点は環境文化型という表現であった。その自然の中でいろいろな文化がどんどん育まれていったという、環境文化型というのが、奄美・琉球のキーワードであったので、それにおいて今回島の踊り等をやっていく。そうしたら、関西だけではなく関東の方々も参加したいと言っているので、そういったことでこの自然の中で生まれた文化が非常に大事であるということ、世界に発信できる場ではないかと考えている。どうかそういう意味で、よろしく願いたいと思う。ワイド節のワイドとは、実は闘牛の文化だ。闘牛で牛をずっと育ててかわいがっていった時に踊るのがワイド節だ。それは人間だけでなく、生き物も含めた文化、自然を含めた形になると思うので、どうか環境文化型ということも同時に、今回参加している自然遺産5地域の方々が、文化も共有していけるとよいと思う。そういう意味で大変期待しているので、よろしく願います。

當山村長（東村）：先ほどからの協議も、我々としても参加するということで、ぜひ沖縄県のやんばる地域、北部3村の自然をアピールしていきたい。我々としては、これまで保全という形で一生懸命取り組んできたが、今後はこの世界自然遺産、さらには国立公園も含め、地域の活性化にぜひ結びつけていきたい。そのためには万博でのお互いの地域のアピールも必要ではないかということで、ぜひ参加をして一生懸命頑張ってアピールをしていきたい。それと、奄美の安田市長から全員参加ということがあったが、我々沖縄県でもカチャーシーという踊りがある。ぜひイベントの最後にカチャーシーでも踊れるようなプログラムができたらと思っているので、よろしく願います。

竹田町長（龍郷町）：このような機会を作ってください、感謝申し上げます。大変貴重なお話を伺わせていただいた。龍郷町もしっかりとサポートをし、協力をしてまいりたい。

議長：代理出席の方でご発言したい方はいるか。（→なし）それでは、最後のまとめに入りたい。いろいろご意見をいただいたので、できるだけ実現をしたいと考えている。

事務局：奄美市の安田市長から、メッセージのことについて、もう少し具体的なことも盛り込みたいというお話があった。先日の幹事会の実務担当者会議でもそういう話が出た。できるだけ地域の方にわかりやすい言葉で、具体的にどんなことをしていくのかということも盛り込めれば盛り込みたい。ただこのメッセージ自体は、ある種完結していて世界に向け発信している感じのものであるので、また別の形で付け加える等も含めて、もう少し考えたい。

今日いろいろご審議いただいたが、まずは、先ほどご説明した基本計画。名称や主催・共催、プログラムの項目・登壇者、展示内容、地域の負担金額と役割分担についてご承諾をいただくということ。また、メッセージの中身について、いくつかご意見をいただいたので、追加や修正の方向について議論したということ。3つ目に、当日の集客目標の設定と集客の進め方について、ご意見をいただいた。5地域会議全員でそれぞれ詰めていく必要があると思うので、まずは以上についてご承認をいただきたい。

議長：今日いただいたご意見を踏まえて、これから準備を進めることになるが、この計画についてご承認をいただけるか。ご賛同いただける方は、挙手でご承認いただきたい。大変大きな丸をいただいた。ありがとうございます。皆様方のご承認をいただいたということで、皆様方のご要望が実現し、かつ成果を上げるように、これから詰めてまいりたい。

#### (4) その他

議長：前回の会合では、環境省、林野庁から出席いただき、コメント等をいただいた。両省庁には後援をお願いしているところであり、林野庁からはすでに承諾をいただいた。

今日は東京都からオブザーバー参加いただいており、情報提供をいただけるとのことだ。東京都産業労働局観光部企画課の山本氏にご説明をお願いします。

#### ◆PPT スライド：世界自然遺産を活用した観光振興

－山本課長代理（東京都産業労働局観光部企画課）より説明

山本課長代理（東京都産業労働局観光部企画課）：課長が別件で出席できないため、私から世界自然遺産に関する東京都の取組及び5地域会議の万博イベントに合わせ、大阪で開催する商談会についてご説明する。まず、東京都の取組について。観光振興の観点から、世界自然遺産登録地が存在する5道県と連携し、世界自然遺産の知名度やブランドイメージを活用したプロモーション等を行い、日本各地と連携した取組を実施している。具体的には、5道県と事業内容等について協議を行う協議会を開催するほか、Webサイト等による各世界自然遺産の魅力や観光スポットの情報発信、オンライン旅行予約サイト等への広告出稿、旅行業者等を対象とした商談会、シンポジウム、そして現地交流会の開催などを事業として実施している。これらの事業を実施する際、各市町村の観光部門の方々のご協力も賜っており、この場を借りて御礼申し上げます。

続いて、大阪で開催する商談会について。昨年小笠原村村長の渋谷様から万博での取組についてご説明をいただいた際に、ぜひ東京都も連携した取組をとお願いいただいた。そこで、6月4日にリーガロイヤルホテル大阪において、世界自然遺産観光振興のための商談会を実施す

る。商談会は、各地域の観光の魅力をお伝えするセミナーと商談会の2部構成となっており、商談会に参加していただく旅行会社等は、今後プレス発表と同時に募集開始する。もし、4日の商談会を視察されたいというご希望がある場合は、事前に東京都産業労働局観光部の私山本までご一報いただくと幸いです。なお、商談会参加者募集について東京都から近日中にプレス発表するが、その際に、6月5日の5地域会議による万博イベントの概要についても告知させていただく予定だ。6月4日の商談会の成功とともに、5日のイベントに多くの方に来ていただけるよう、我々もしっかりと取り組みたい。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### <質疑応答>

議長：小笠原村は別格として、他の地域は東京都に直接コンタクトすることになるのか。こういうことを広報してほしいとか、こういうことを考えてもよいとかいう話について。

山本課長代理（東京都産業労働局観光部企画課）：商談会の実施について、プレス発表する際に、この基本計画に記載されている概要を、非常に絞ったポイントになると思うが、告知を同時にさせていただこうと考えている。また4日の商談会に、もしご視察等のご希望がある場合は、私東京都観光部連携事業担当までご連絡をいただくようお願いしたい。詳しいご連絡先などは、メッツ研究所を通じてお知らせする。

渋谷村長（小笠原村）：先ほど言っていたように、去年連携しましょうという中から、日にちを前後して商談会を設定してもらった。私は行くので、ぜひ皆さんも前日入りする方は顔を出してみませんかという、東京都ではなく皆さんへのお誘いです。

議長：その他、特になければ、ここで締めさせていただきたいと思う。先ほどご質問・ご意見があったように、しっかり広報・告知をして、5地域以外の多くの方にご参加いただくように、さらなる努力をしたいというのが第一点。第二点が、参加される方々については、できるだけ参加型になるようにするという事。舞台の壇上までは無理でも、アリーナや座席で一緒にできるように。それについては、しっかりと協会と話をしたい。その他、イベントの話等、実務的にきちっとしなければいけないところはあるが、そういう点についてもご心配のないようにしたい。

それから、最初に申し上げたように、この6月5日の催事は予約がないので、一応500人、600人ほどの席を関係市町村用に確保されているが、それは早い者勝ちになるので、もし200人、300人動員される町があれば、それが1,000人になっても一向に構わない。我々は500人600人を最低確保するという事であるので、その点についてはぜひよろしくお願いをしたい。

せっかくこれで各地域がまとまって取り組んできたということであるし、国際的なイベントにもしている。大変有力な海外からの方にもご参加いただいて、日本の取組を、そうした方を通じてアピールしていきたい。また、大阪・関西万博の「いのち輝く未来のデザイン」という中でも、こうした取組が大きな意義を持つのではないかということも、しっかり私としては広報してまいりたいと思っている。いずれにしても、あと1月ちょっとで一大イベントを迎えるので、今後とも皆様方のご協力をよろしくお願いをしたい。以上で私の出番は終わりとし、マイクを司会に返す。ご協力感謝申し上げます。

### 3 閉会

司会：それでは、閉会の時間が近づいて参った。閉会の挨拶を、5地域会議幹事である鹿児島県奄美市の安田市長よりお願いしたい。

安田市長（奄美市）：皆様、本日の会議、本当にありがとうございました。非常に活発でとても有意義な内容になったと感じている。中村会長をはじめ、5地域会議の事務局の皆様、またメッツ研究所の皆様から感謝を申し上げる。あと1ヶ月半くらいだが、本当にドキドキ、ワクワクしているところだ。また万博自体がこれからどんどん盛り上がっていくと思うので、我々も5月6日、6月5日に向けて、しっかり準備をしていきたい。

最後の挨拶ということだったが申し訳ない。1つ確認だが、5月6日のイベント後にもう一度この会議があるのか。

事務局：今のところ予定していない。事務局レベルでのご連絡は今後とも緊密にやっていきたいが、この全体会議、総会については、万博の我々の催事前は今日が最後である。

安田市長（奄美市）：5月6日のシンポジウム等を含めて、もし間に合うのであれば、最終メッセージにも反映していただいてもよいのかなと思った。また5月6日は、私は参加できそうにないので、その結果や内容を、機会を見て教えていただければありがたい。お願いばかりで恐縮であるが、しっかり事務局の皆様、そして各構成の市町村それぞれが役割を果たして、素晴らしいイベントができるように、そのためにもまた引き続きコミュニケーションを密にさせていただければと思うので、よろしく願います。

最後に、東京都からもありがたいご提案をいただいたので、ぜひこれが長く続くような取組になればと願っている。我々地元としても県も含めて積極的に参加させていただきたいと思うので、よろしく願います。これからいよいよ準備が佳境に入ってくる。事務局の皆様にはお力をいただくことになると思うが、くれぐれも健康に気をつけて、最後みんなで本当にお互いに感動、感激できるような万博になればと思うので、どうかよろしく願い申し上げて、挨拶とさせていただきます。今日は本当にありがとうございました。

事務局：事務局からお伝えしたいことがある。先ほど安田市長からお話があったが、5月6日のイベントは同時配信で見られる。生中継で同時通訳を入れながら配信されるので、皆さんもぜひご覧いただければと思う。視聴方法は追ってお知らせする。もちろん結果のご報告はその後もする予定である。

司会：それでは皆様、長時間になりましたが、最後までご参加いただき感謝申し上げます。これを以て、第4回世界自然遺産5地域会議を終了いたします。

以上

## 第4回世界自然遺産5地域会議（オンライン開催） 出席者一覧

### 5地域会議会員

遺産名	都道県名	市町村・団体名	首長名	本会役職	参加形態	備考
知床	北海道	しゃりちよう 斜里町	山内 浩彰	幹事	○	同席：塩総務部環境課長
		らうすちよう 羅臼町	湊屋 稔		○	同席：飯島産業創生課長、白柳産業創生課係長
		(公財)知床財団	理事長 村田 良介	幹事	○	同席：玉置事務局長
白神山地	青森県	あじがさわまち 鱒ヶ沢町	平田 衛		○	同席：神企画観光課長、本間企画観光課観光商工班長、飛嶋企画観光課観光商工班主事、山中企画観光課観光商工班主事
		ふかうらまち 深浦町	平沢 一臣		△	代理：佐藤 洋一 副町長 同席：神林観光課長、坂本観光課主査
		にしめやむら 西目屋村	桑田 豊昭	幹事	○	同席：西澤産業課補佐
	秋田県	ひろさきし 弘前市	櫻田 宏		△	代理：田中 泰宏 副市長 同席：白戸観光部長、花田観光部国際広域観光課課長補佐
		ふじさとまち 藤里町	佐々木 文明	幹事	○	同席：齋藤商工観光課長、佐々木商工観光係長
		はつぼうちよう 八峰町	堀内 満也		○	同席：細田商工観光課主事
		のしろし 能代市	齋藤 滋宣		△	代理：進藤環境産業部次長兼観光振興課長 同席：後藤環境産業部観光振興課主任
小笠原諸島	東京都	おがさわらむら 小笠原村	渋谷 正昭	幹事	○	同席：石原環境課長、安藤環境課自然環境係、井上環境課自然環境係、米塚環境課自然環境係
屋久島	鹿児島県	やくしまちよう 屋久島町	荒木 耕治	副代表・幹事	△	代理：有馬観光まちづくり課長 同席：寺田観光まちづくり係長、佐々観光まちづくり主査
		(公財)屋久島 環境文化財団	理事長 小野寺 浩	代表・幹事	△	代理：蒲地事務局長 同席：田島事務局次長、濱崎事業課長、村口総務企画課主事、松本事業課主事、寺田事業課事務員、青木事業課事務員
奄美大島、 徳之島、 沖縄島北部 及び西表島	鹿児島県	あまみし 奄美市	安田 壮平	幹事	○	同席：押川世界自然遺産課長、世界自然遺産課遺産政策係長、豊島世界自然遺産課主査
		やまとそん 大和村	伊集院 幼		○	
		うけんそん 宇検村	元山 公知		○	
		せとうちちよう 瀬戸内町	鎌田 愛人		○	同席：川畑水産観光課長補佐兼室長、山元水産観光課主事
		たつごうちよう 龍郷町	竹田 泰典		○	同席：小松生活環境課主査、和田生活環境課主査
		とくのしきよう 徳之島町	高岡 秀規		○	
	沖縄県	あまぎちよう 天城町	森田 弘光		○	同席：企画財政課古川主任
		いせんちよう 伊仙町	大久保 明		○	同席：上木きゅらまち観光課長、栄きゅらまち観光課主事
		くにがみそん 国頭村	知花 靖	幹事	△	代理：平良環境保全課長
		おおぎみそん 大宜味村	友寄 景善		△	代理：佐久川企画観光課長 同席：前田企画観光課観光係長、石川企画観光課観光係主事
		ひがしそん 東村	當山 全伸		○	同席：平良企画観光課長、金城企画観光課主事、河合企画観光課地域プロデューサー
		たけとみちよう 竹富町	前泊 正人		×	

出席者数合計：○…首長出席（17団体） △…代理出席（7団体） ×…欠席

### 顧問・関係機関等

イベント学会会長	中村 利雄	○	支援機関
(一財)地球産業文化研究所 専務理事	蔵元 進	○	参加支援機関 随行：嶋田参事
東京都産業労働局観光部企画 課連携事業担当（課長代理）	山本 純子	○	